

市議会だより

# 希望を植えよう

私たちは明るい未来をあきらめてはいけません。夢をあきらめてはいけません。生きることをあきらめてはいけません。私たちには少しでもいい形で相馬市を次世代に手渡していく務めがあるのです。だから、ふんばろう、相馬！

発行：新妻香織＊にいつまかおり  
〒976-0022 福島県相馬市尾浜字南ノ入 241-3  
TEL・FAX：0244-64-2042  
E-mail：cxh05551@nifty.com  
URL：http://kaori-niitsuma.com/



## TOPICS

■今年度の相馬市の予算は 431 億 8592 万 5000 円。

平成 23 年度相馬市一般会計補正予算 54 億 1854 万 2000 円が追加され、歳入歳出予算の総額は、431 億 8592 万 5000 円となりました。前年度同期対比で 190.6%アップの超大型予算です。それに合わせ市の組織も放射能対策室、企画政策課中に復興推進係、都市整備課中にまちづくり係などが新設されました。

■相馬市議会 3 月定例会が開会されました。

3 月 5 日に開会した 3 月定例会では、人事案件 3 件、条例の制定・一部改定 18 件、平成 23 年度補正予算、24 年度当初予算など 36 の議案が提出され審議、可決しました。また福島県内の原発の廃炉、最低賃金引き上げ、産後母子向け戸別訪問について 3 件の請願があり、審査しました。新妻が一般質問に立った内容は P2-3 をご覧ください。

■私たちの水を管理する広域水道企業団の議会開会。

私たちの水道は、相馬市、南相馬市鹿島区、新地町の 3 市町が利用し、相馬市議会とは別の議会を運営しています。2 月 23 日、水道に関する議会が開催され、22 年度水道事業決算、23 年度水道事業会計当初予算・補正予算の概要が提案され審議、了承されました。また新妻が一般質問に立ち、水の安全性に関連する質問等を行いました。

■私たちの「宝」子供を守れ！子育て関連質問をじっくりやりました。

福島からの人口流出が止まらず、福島は真っ先に高齢化する県になることは明らか。こんな中で子供を育てることの苦労を再認識し、我々の「宝」子供を大切に育てていくような施策が必要と感じています。公立病院の産科医師確保や放課後児童クラブ拡充などについて質問し、市長、保健衛生部長等の考えを聞きました。

■住民懇談会で市民の意見を吸い上げ、議会に届けます。

2 月に開催した東部地区の住民懇談会は大変好評でした。これからも年 4 回、定例議会終了後に懇談会を開催して、みなさんの意見を議会に届けていきます。また、市内の喫茶店で、毎月第 1 水曜日 14 時から、新妻に「物申す！」「ささやく(ツイート)」「一緒にお茶を飲む」、そんな会を開催します。詳細は P3 をご覧ください。

# 切磋琢磨

—親愛なるシンディ・ローパーさま—

突然の手紙を差し上げる無礼をお許してください。私は福島県相馬市で市会議員をしている新妻香織と申します。2011 年 3 月 11 日の大震災で、両親の住む家や私の故郷が津波で壊滅し、友人や隣人が投げ出されました。

しかし津波だけなら、福島はもっと力強く歩み出していたことでしょう。原発事故は私たちを徹底的に叩きのめしたのです。家族と離別させられ、家を追われ、仕事を奪われ、そして魚や観光、子供たちの未来まで奪われました。私たちは考えうる最悪のシナリオを生きているのかもしれない。

だけど私は「決してあきらめない！」と心に誓いました。私たちは本当に償いきれないものを次世代に残してしまったから、少しでもいい未来を子供たちに手渡していかなければならないのです。全く福島では何も終わっていないというのに、日本の中では「原発再開」の動きが首をもたげ始めています。だからこそ福島を「再生可能エネルギーの基地」にして、日本が変わっていくための震源地にしていかなければならないのです。

そこで、シンディが記者クラブで「福島を助きたい」といってくださったのを心強く受けとめ、全く不躰なお願いをさせていただきますが、かつて世界のミュージシャンらがエチオピアの飢餓救済のために立ちあがったように、福島のためにお力添えくださらないでしょうか。私は福島の子供たちの未来をどうしてもあきらめるわけにはいかないのです。彼らには福島に生まれ育ったことを悔やんで欲しくない。だから、福島再生のために力を尽くしますので、ぜひご協力をお願い申し上げます。

間もなく東北も花の季節を迎えます。昨年は花が咲いたことすら気付かずにいました。福島の人々の心にも早く春が来ることを願っています。どうぞシンディにとっても素敵な春でありますように。  
新妻香織

## 新妻香織の 応援団になってください！



福島の子供たちに明るい未来を手渡すために働きます。

- ▶ 福島再起のため「福島開発庁」の設置を国に要求しよう。
- ▶ 福島を「再生可能エネルギー」の基地にしよう。
- ▶ 松川浦に若者が集えるストリートを作ろう。
- ▶ 野馬追訓練と観光を目的にした馬場を建設しよう。

相馬から始めよう！

## 議会を傍聴する 女性の会

あなたも議会を傍聴しませんか

「傍聴席から政治を変えよう！」  
皆さんが議会を傍聴し、相馬市や市会議員の発言をチェックしてください。そして共感できる発言をした方には「よかった！」と感動を伝えましょう。さらに感動が持続したら、みんなに話したり新聞に投稿しましょう。皆さんが市政に関心を持つことが、相馬市の市政を変えていく原動力になるのです。普通の主婦にだって政治は変えられます。

議会を傍聴して

時間のある時は議会を傍聴することになっています。質疑に答える機会はないのか。また長い方々の発言があまりないのも気になる。どんなお考えなのかお聞きしたい。また答弁をする側は下調べをしたものを応えているのだから、(市長以外)は決まり切った幅のない答えが多いように思われる。それ以外にも相馬市議会の傍聴者は数が少なく、同じような顔触ればかりでまったく寂しい。議員はもろろのこと、市からも呼びかけができないものか。(須藤マサ子さん・北飯淵・82歳)

3 月定例会の傍聴者数 57 名  
(男：38 名、女：19 名)



# 議会報告



3月議会は5～22日の18日間で、分厚い予算書との格闘でした。私の属する産業建設常任委員会では、土木部、産業部の予算内容を審議。まさに復興の槌音がここから響きます。

18日間の会期で行われた3月定例会は、5日に開会・議案の説明、8、9日一般質問(20人中11人が質問)、12～14日各常任委員会開催(現地視察含む)、請願(3件)審議、16日予算決算常任委員会、そして22日本会議での議決という流れで行われました。

今回市から提出された提出案件は36にもなり、「総務」、「文教厚生」、「産業建設」の3つの常任委員会は、分担された膨大な案件にがつつり取り組みました。



上：ラブチャイルドの子供たち  
下：大槌町の瓦礫で作ったカフェ

## 新妻香織の質疑

3月定例会の一般質問は8、9日の両日。11人の議員が質問に立ち、私は9日、4番目に次のようなやり取りをしました。

### 1: 子育て関連について

福島県から年少人口(0～14歳)、生産年齢人口(25～44歳)の大量流出が続いているが、相馬市にいる子供たちを大切に育て、相馬市で子供を産んでもらえるような様々な方策を講じる必要があると考えるが、

- ① 3月以降、産婦人科が1軒のみになることをどう考えるか。⇒4月以降、週2回県立医大から産婦人科医が派遣されてくるが、子供を産める状況にはない。全国に医師派遣を要請している。
- ② 子どもアート・メゾン(仮称)に乳幼児が遊びまわられるスペースを作ってほしいという声が多いが、取り入れてはどうか。⇒この施設は心のケア、PTST対策、学力向上、アート活動、貸し館などのための施設。用途目的が決められた寄付によるものと設計が最終段階にあるため、乳幼児のための施設を作ることはできない。
- ③ 放課後4年生以上の児童を見てくれるところが欲しいという声が上がっているが、対策についてどう考えるか。⇒放課後児童クラブは定員オーバーの上、空き教室がなく、拡張が難しい。被災児童を対象に、大野台と柚木の仮設の中に放課後児童クラブ

を設置する準備中。労働人口創出のためにも、段階的に整備していけるようにしたい。

### 2: 除染について

- ① ミニスポットを探し出すために住民の手を借りるべきではないか。⇒ガラスバッチの結果を踏まえ、年間1.6ミリシーベルト以上の被ばくの可能性がある子どもの生活圏、玉野地区を中心に除染を開始。市内一斉にホットスポットを探す予定はない。除染に関しては民間との協働を考える。
- ② 水源周辺の市町村へ、水源に汚染水が流込まないよう申入れをして欲しいという声が多いが、どう講じるか。⇒除染は水をなるべく使わないよう福島県から関係自治体をお願いして欲しいと相双振興局長に要請し了承を得た。
- ③ 相馬市水道水源保護条例に「放射能」の項目も加えるべきではないか。⇒ゴルフ場と一般産業廃棄物処分場に特定した条例。放射能は広範囲にわたり場所が特定できないので、加えることはできない。

### 3: 雇用の創出について

- ① 福島県の再起のために様々な施策が必要になってくるが、「福島開発庁」を置き、エネルギー特区、関税特区などを国に要求していくべきではないか。⇒2月に復興庁がで

き、国の支援体制が確立した。また福島復興特別措置法も3月末に議会を通過する予定。福島開発庁については県全体の問題なので、その要求が高まってきたら積極的に議論に参加したい。今後雇用や産業について有益なら特区の申請を検討していく。

相馬市議会では3月議会の一般質問を映像で配信しています。  
<http://www.city.soma.fukushima.jp/gikai/stream/index.html>

その他、子育て関連の請願の紹介議員になりました。また予算決算委員会で農業振興費の歳出について質問をしました。

1:「産後母子向け戸別訪問に関する請願」産後1か月以内の母子を助産師が全戸訪問することで、母親と新生児の心と体のケアをし、相馬市で安心して子育てができる環境を整えるよう請願。⇒文教厚生委員会で審議後、再審査となり、請願を取り下げ、再度別な形で出し直すことに。

2: ヤマト財団から3億円予算が出た各種農業機械の購入につき、その維持と事業内容について。⇒農業法人への無償貸与で350haの除塩と大豆の作付を行う。

## 新妻香織の活動

1～3月の議会以外での新妻の活動を報告します。年度末で、私とともにハードな時間でした。

■松川浦の未来を語るゼミナール: Vol.6「今こそ本物志向の観光地づくりを」講師・川嶋舟氏、石田清巳氏/1月9日@はまなす館

■福島大学講義: NPO論について/1月11日@福島大学

■エチオピア事業視察: /1月20日～2月1日

■松川浦の未来を語るゼミナール: Vol.7「ナチュラルシフト」講師・恵小百合氏/2月5日@はまなす館

■ラムサールネットワーク日本の松川浦視察/2月5・6日

■四市連絡会議/2月8日@フローラ

■福島県農業技術検討会/2月10日@福島県庁

■第1回住民懇談会/2月11～15、26日@各仮設集会所、はまなす館、東部公民館

■渡良瀬遊水地ラムサール条約シンポ/2月18日@栃木県小山市

■東北お遍路キャラバン/2月18～

22日@青森3市町村、岩手11市町村訪問、ミーティング

■お母さんリサーチ/2月15・24日@ラブチャイルド・こがめ倶楽部

■松川浦の未来を語るゼミナール: Vol.8「放射能と暮らす」講師・境野米子氏、稲葉光國氏/3月4日@生涯学習会館

■はぜっ子倶楽部水質調査/3月10日@宇多川、小泉川

■福島県文化振興事業団評議委員会/3月26日@ビューホテル

■WWF 松川浦調査報告会/3月27日@中央公民館

■熱血先生VOICE 取材: 鮫川中学校鈴木悦子先生、いわき総合高校石井路子先生/3月28日⇒4・5月HPアップ



種播きを終えた苗木ポット(エチオピア)

## 新妻香織の今後の動き

### ○第2回住民懇談会開催

2月に開催した住民懇談会では、皆様の身近な諸問題に触れることができ、大変勉強になりました。第2回の住民懇談会は、以下の日程で開催します。4月23日:刈敷田1集会所、24日:北飯淵東集会所、25日:大野台1集会所、26日:大野台2集会所、5月12日東部公民館。これからも「住民と市のパイプ役」になっていきます。みなさまのお越しをお待ちしております。

### ○相馬市企業訪問

原発の風評被害に泣くのは住民ばかりではありません。企業の皆さんも大変なご苦労をされていることと思います。企業誘致も重要ですが、まずは相馬市の企業を大切にすることが先かもしれません。相馬市で経営するに当たり、今お困りのことは何でしょうか。お忙しいところ恐縮ですが、聞き取りをさせていただきたいので、少しお時間を割いてくださいますようお願いいたします。

### ○かおりツイートタイム

毎月第1水曜日14時～、新妻にささやき(ツイート)に来ませんか。「市にお願いしたいことがあるけど、なかなか聞いてもらえなくて…」という真剣な相談事とか「こんなこと感じているんだけど」なんて、ささやかなことでもいいですよ。

★とき: 5月9日14時～(店の都合で5月は第2水曜、お間違えなく!)

★ところ: エンドレス(田町通り)